

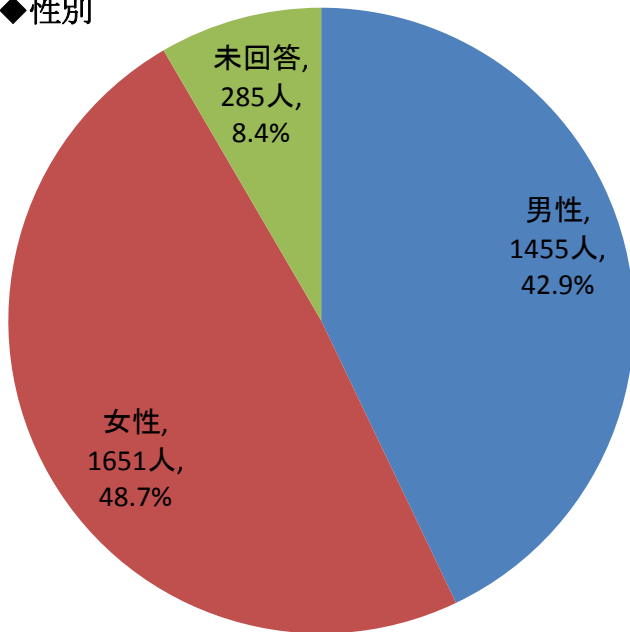
「生涯活躍のまち・つる」市内高齢者アンケート調査回答速報値

平成 30 年 1 月に市内在住の 60 歳以上の介護を必要としていない高齢者（7080 名）に対し、「生涯活躍のまち・つる」事業に関するアンケート調査を実施した。以下はその速報値である。（アンケートについては後述参照。）

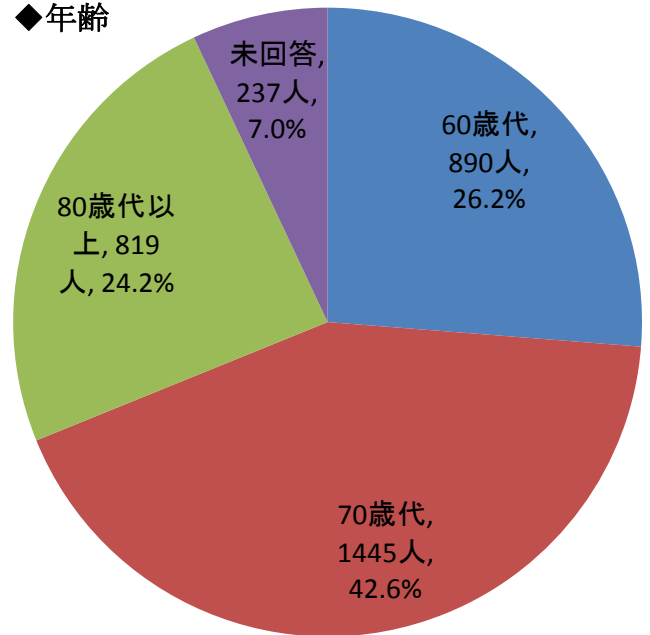
○アンケート対象者 7080 名

○有効回答数 3391 名（平成 30 年 3 月 16 日時点）

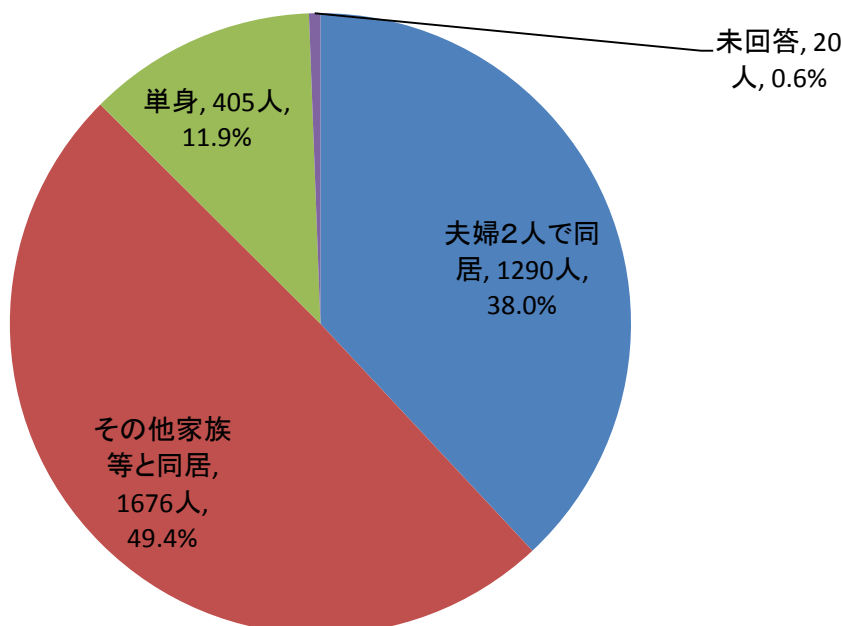
◆性別



◆年齢

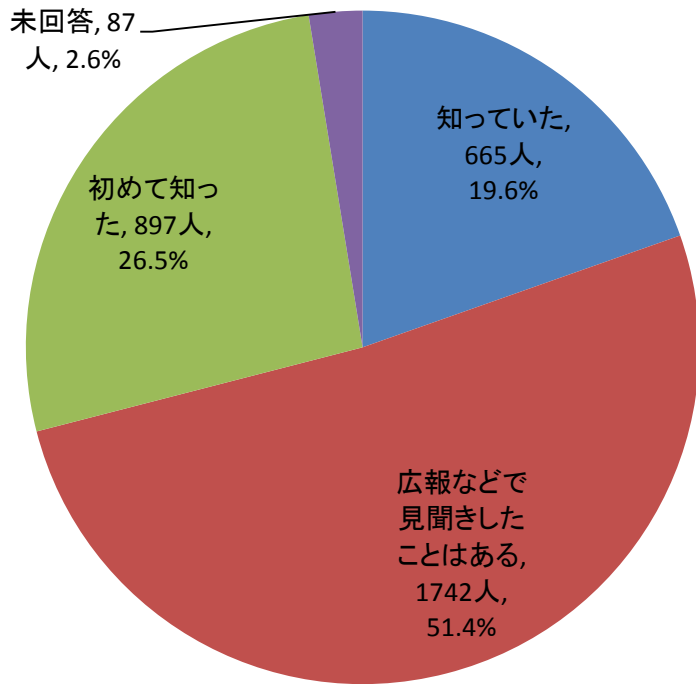


◆現在の居住形態



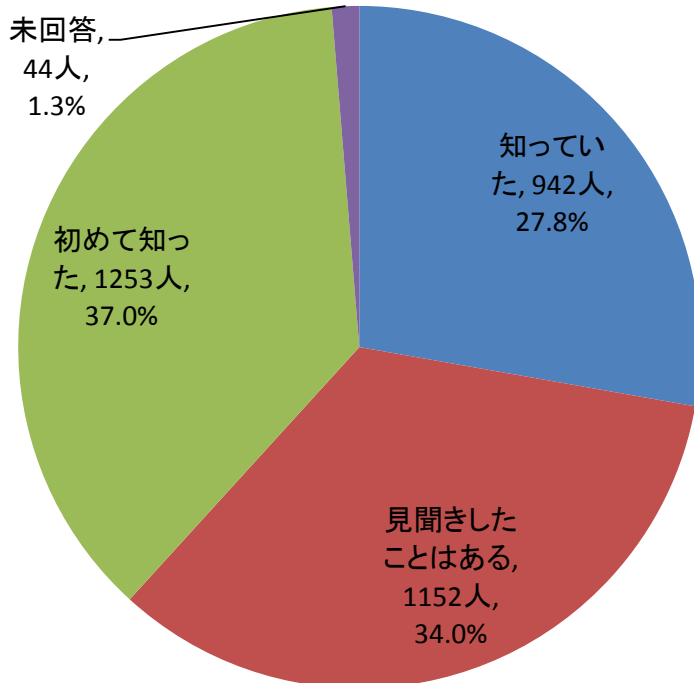
○居住形態については約 9 割の方が夫婦、あるいはその他家族との同居中ということで独居の方の割合は 1 割にとどまる。しかしながら、経年により夫婦いずれかが施設入居や死亡などにより、約 4 割にあたる夫婦 2 人の世帯が独居に推移する可能性も将来的にある。

◆「生涯活躍のまち・つる」事業の認知度



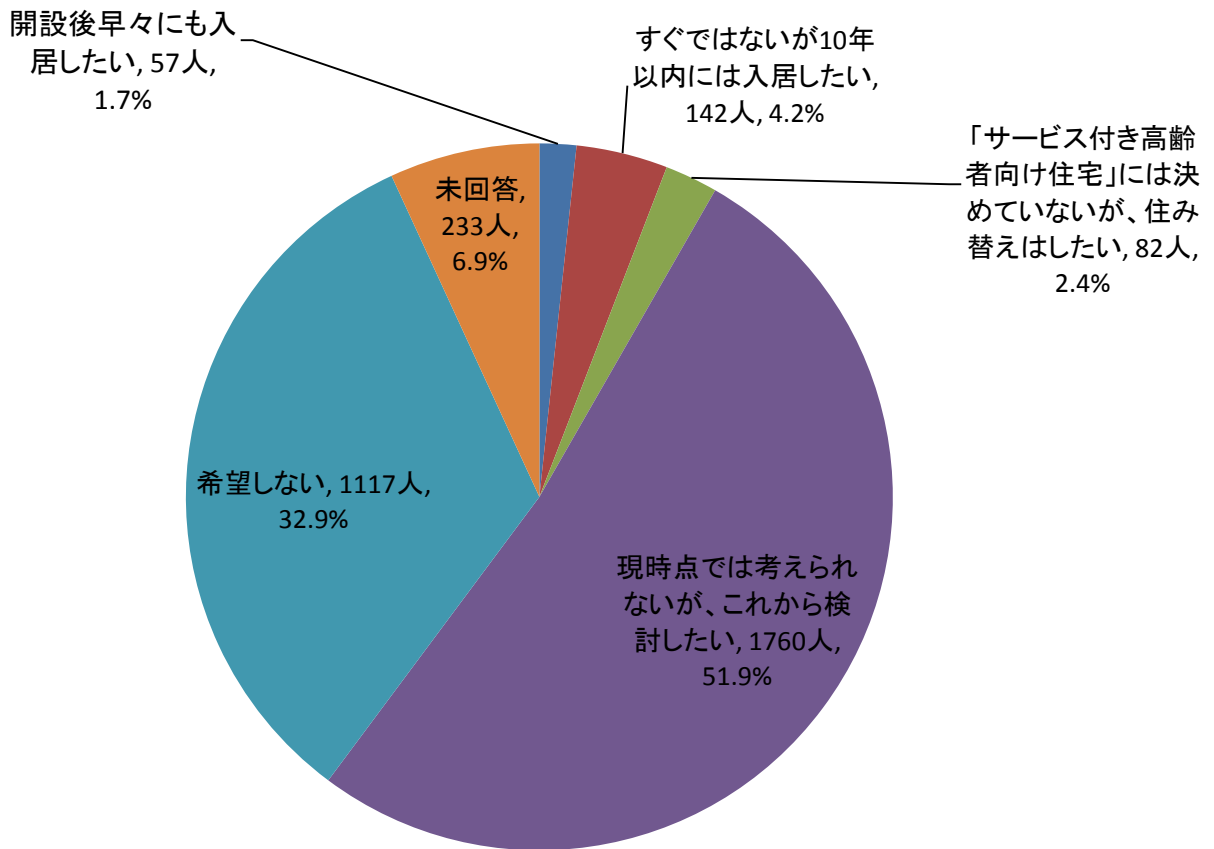
○事業全体の認知度としては「知っていた」または「広報などで見聞きしたことはある」方が全体の7割を占めており、ふれあい集会や広報等で継続して取り組み内容について周知してきた結果だと思われる。

◆サービス付き高齢者向け住宅の認知度

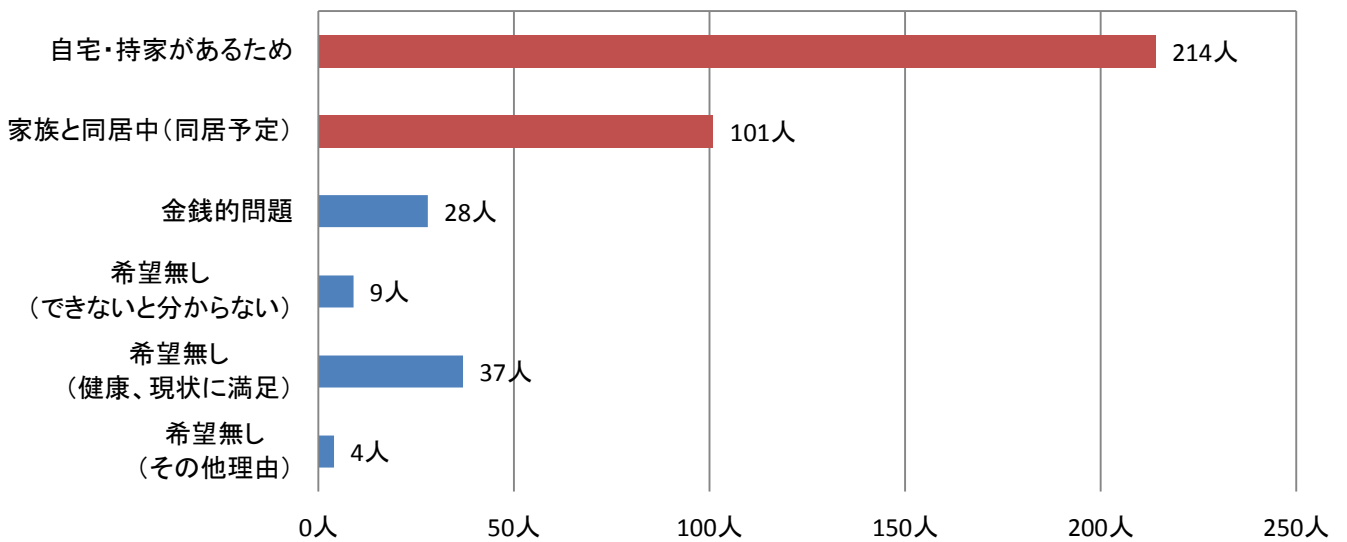


○一方で、サ高住そのものの認知度に焦点をあてると、「知っていた」、もしくは「見聞きしたことはある」と答えた方は合計で61.8%にとどまった。有料老人ホームや特養、デイなどと比べるとまだまだ周知は広がっておらず、そのサービス内容についても正しい認識を持っている方が少ないことが読み取れる。

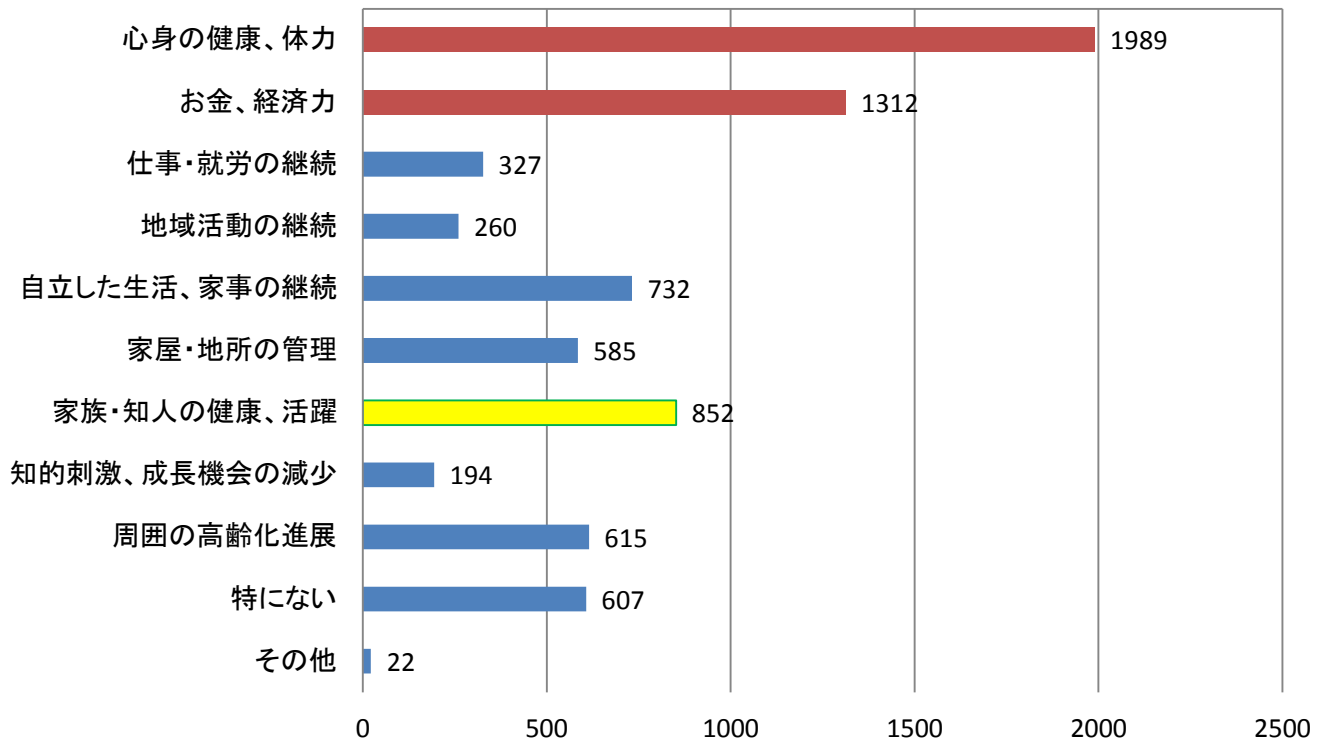
◆サ高住への入居希望



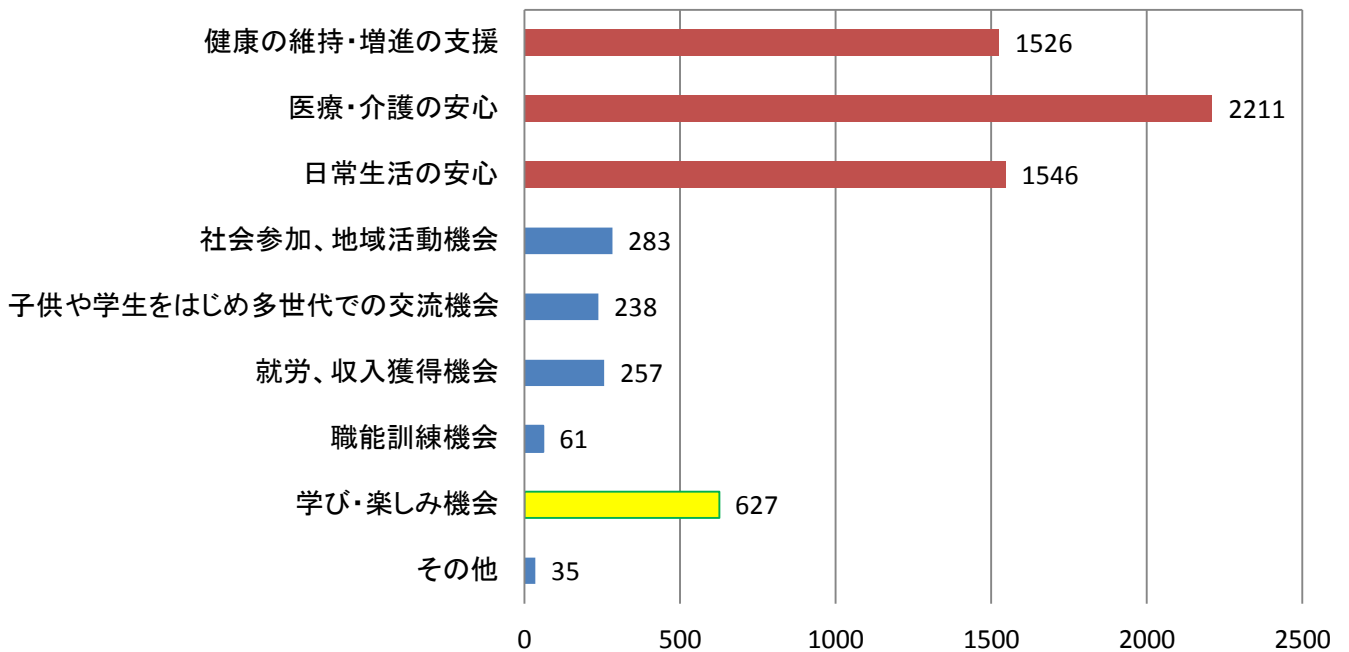
◆サ高住への入居を希望しない理由（有効回答数 393 人/白紙回答 724 人）



◆現在の暮らしの中での不安（複数回答可/回答総数 7495）



◆「生涯活躍のまち・つる」に求めること（複数回答可/回答総数 6784）



サ高住への入居及び事業に関連する設問への分析

○サ高住への入居希望については「開設後早々にも入居したい」が 1.7%、「10年以内には入居したい」が 4.2%と強い入居希望のある層は少ない結果となった反面、5割の方は「現時点では考えられないが、これから検討したい」という意見であった。ここから現時点では健康で生活に支障はないが、将来的に高齢化による不安は多くの方が抱えているということが読み取れる。その際に受け入れ可能で選ばれる施設やサービスがあれば、入居いただける可能性はあると思われる。

○一方で入居を希望しない方の理由で多かったのが「持家・自宅」があり、「家族と同居」という意見。都心と地方では一番の違いか。

○日常生活の不安や「生涯活躍のまち」に求めることから、多くの方が心身の健康に不安を抱え、またその不安を解消するための医療・介護の充実を求めることが多かった。心身、あるいは日常生活の充実を求める声は予想通りではあったが、一方で「家族や知人の健康、活躍」に不安を覚えるという声や、「学び楽しみ機会」の充足を求める声も多く聞かれ、高齢化に伴う健康の不安は自身だけでなく、家族や近所の人にも感じる場所であり、学び等の機会を求める声も多いことから、今後ますますソフト面での充実を図っていく必要があることが読み取れるのではないかと。そうした中で各大学や市民活動、民間事業者と連携を進めることが今後の課題となる。

生涯活躍のまち・つる事業 アンケート調査の実施について

都留市では住む人々が生涯にわたり学び、健康で生きがいを感じられるまちづくりを目指す「生涯活躍のまち・つる」事業に取り組んでいます。

その一環として、つる5丁目、田原4丁目の2箇所で『サービス付き高齢者向け住宅（※）』の整備事業を進めており、市内にお住いの方が優先的に入居可能な部屋を設ける予定であります。なお、これら2事業は工事、運営等を民間事業者が行う官民連携事業として実施しています。

今回のアンケート調査は、『サービス付き高齢者向け住宅』へのご関心やご要望等を市が把握し、運営事業者と共有することを目的に実施するものであります。

※サービス付き高齢者向け住宅とは

要介護の高齢者が入居する有料老人ホームとは異なり、自立あるいは軽度の要介護高齢者を対象とした、ケアの専門スタッフによる安否確認や生活支援相談などが主なサービスとして提供されるバリアフリー対応の賃貸住宅を指します。

■サービス付き高齢者向け住宅に改修される旧雇用促進住宅下谷宿舎（つる5丁目）

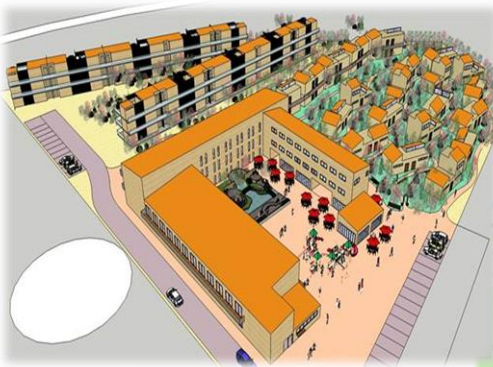
運営する株式会社コミュニティネット（本社：東京都千代田区）によって平成30年度に改修工事が行われ、平成31年度の開設を予定しています。敷地内には地域交流拠点も整備され、多目的スペースや食堂、介護施設などが入る予定です。



出典：Google map

■新たに田原4丁目に建設予定のサービス付き高齢者向け住宅や交流拠点などのイメージ図

平成30年度以降に事業者公募を予定しています。



出典：Google map

※本事業の詳細について知りたい方は、広報つる1月号や市HPなどをご覧ください。担当までお問い合わせ下さい。

アンケートの趣旨にご理解・ご協力いただける場合には、**裏面の調査票に回答いただき、同封の返信用封筒により併せてご返信願います。**

なお、今回のアンケートで回答いただいた内容については「生涯活躍のまち・つる」実現に向けた参考資料とさせていただきます、それ以外の用途には用いることはございません。

《本件お問合せ先》

都留市役所 総務部 企画課 つる創生推進室

電話 0554-43-1111（内線243）

⇒裏面へ

生涯活躍のまち・つる事業 アンケート調査票

性別 1. 男性 2. 女性

年齢 1. 60歳代 2. 70歳代 3. 80歳代以上

■下記の質問1)～4)について、最も当てはまる番号1つに○を付けてください。

1) 現在のお住まいで、同居の方はいますか。(○は1つ)

1. 夫婦二人で同居 2. その他家族等と同居 3. 単身(同居者はいない)

2) 都留市の「生涯活躍のまち・つる」の取り組みを知っていましたか。(○は1つ)

1. 知っていた 2. 広報などで見聞きしたことはある 3. 初めて知った

3) 「サービス付き高齢者向け住宅」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

1. 知っていた 2. 見聞きしたことはある 3. 初めて知った

4) 平成31年度以降に、都留市に「サービス付き高齢者向け住宅」が開設した場合、金額等の条件があえば入居を希望しますか。(○は1つ)

1. 開設後早々にも入居したい 2. すぐではないが10年以内には入居したい
3. 「サービス付き高齢者向け住宅」には決めていないが、住み替えはしたい
4. 現時点では考えられないが、これから検討したい
5. 希望しない ⇒ 5を選ばれた方へ：もし理由があればお聞かせください。

()

■下記の質問5)、6)について、当てはまるすべての番号に○を付けてください。

5) 現在の暮らしの中で不安な点はありますか。(○はいくつでも)

1. 心身の健康、体力 2. お金、経済力 3. 仕事・就労の継続
4. 地域活動の継続 5. 自立した生活、家事の継続 6. 家屋・地所の管理
7. 家族・知人の健康、活躍 8. 知的刺激、成長機会の減少 9. 周囲の高齢化進展
10. 特にない 11. その他()

6) 「生涯活躍のまち・つる」に求めることはありますか。(○はいくつでも)

1. 健康の維持・増進の支援 2. 医療・介護の安心 3. 日常生活の安心
4. 社会参加、地域活動機会 5. 子どもや学生をはじめ多世代での交流機会
6. 就労、収入獲得機会 7. 職能訓練機会 8. 学び・楽しみ機会
9. その他()

☆その他、ご意見などがございましたらお聞かせください。

～以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。～